

財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉などの課題解決をめざし、公益に寄与しています。



主な研究・調査活動（2016年度）

〔ダイヤ財団主管研究〕

- 介護 QI によるケアサービスの質の評価研究
- 介護予防事業のエビデンスを蓄積する自治体共同研究
- シルバー人材センターの社会的有用性に関する研究
- うつ予防プログラムの効果検証及び定着普及に関する研究
- 地域高齢者の精神的健康度の予後に関する縦断的研究
- 都市高齢者の社会関係周縁部に関する研究
- 中高齢者の交流媒体としての電子メールに関する研究
- ICT を活用した高齢期の社会活動継続に関する研究
- 国際保健事業の長期的評価のための調査研究
- 中高年単身者の生活と意識に関する調査
- 中高年正社員の退職後の生活に向けた意識調査

〔分担・共同研究〕

- 高齢者就業の新たな調整型支援システムの構築に関する総合的研究
- 特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種連携とケアの質の評価に関する研究
- 地域在住高齢者の社会的孤立に対する支援構築に向けた実証研究
- 杉並区制 80 周年 共同研究「健康長寿モニター事業」
- 長寿医療研究開発事業「認知症地域支援 参加型ワークショップ研修開発」

主な普及・広報活動（2016年度）

講演会・シンポジウム
などイベント開催

研究論文・研究報告書・
学会発表

機関誌『Dia News』・
調査報告書などの発行

社会老年学文献データ
ベース「DiaL」の提供

うつ予防プログラム
「ハッピープログラム」

シニアが楽しむエアロ
ビック「ダイヤビック」